

みどりアップQ

緑 × まち × 未来を考えよう

緑のキャンパス、森の楽校へ！

がっ
こう

横浜市内には、自然豊かな大学のキャンパスが点在しています。キャンパスの自然も、私たち市民にとってはかけがえのない緑。横浜みどりアップ計画の事業のひとつ「よこはま森の楽校」では、そんな緑のキャンパスで、まちで、学生たちと一緒に学びながら、さまざまな発見に出会えます。今号では、学生の目を通した、緑と地域の交流をレポートします。



蝶がつなく緑のネットワーク調査・・・
横浜みどりアップ計画の事業のひとつ、「よこはま森の楽校」として、平成23年度から、フェリス女学院大学で毎年夏に1回開催されています。

蝶とまちの緑の関係を探る

泉区緑園にあるフェリス女学院大学緑園キャンパス。ここには構内に2ヘクタールほどの森があり、周辺の森とともに、住宅地の貴重な緑となっています。キャンパスではビオトープや屋上緑化などが取り入れられ、緑あふれる環境づくりにも積極的です。「サークル活動では、長靴に麦わら帽子で、農作業も楽しんでいるんですよ」と元気に話してくれるのは、同校のエコキャンパス研究会の学生たち。構内で畑を耕したり、企業と協働でエコ商品の開発をしたり、幅広い活動をしています。

そんなエコキャンパス研究会の学生を中心に、大学では親子で参加できる自然体験学習「蝶がつなく緑のネットワーク調査」を開催しています。

「一部の蝶は、“蝶道”として、ある決まった通り道を飛んで行きます。ですから捕まえた蝶を追いかけることで、その生態を知ることができます。また、蝶の幼虫は、それぞれ決まった葉や草しか食べないので、そこにある植物の種類で蝶の生息域が変わってきます」と、蝶とまちの緑の関係について、調査で講師をしている東京都市大学環境学部准教授の横田樹広先生が解説してくれました。



森の中で蝶の説明をする横田先生



大学生と一緒に観察

子供たちに伝えることで、気付くこと、学ぶこと。

大学のキャンパスを中心に、自然体験学習を楽しもう！そんなユニークな試みが、市内大学の学生が中心になって市民向けに開催する「よこはま森の楽校」です。フェリス女学院大学で開かれた「蝶がつなく緑のネットワーク調査」取材、レポートします。

取材・編集 東 みちよ 委員
イラスト 今井 翔太くん(小4)



子供たちも発見しながら成長！

プログラムは、参加者が大学の森や草地、周辺の公園で、蝶を見付けることから始まります。蝶を観察して、地図に蝶の種類と場所や飛んで行った先を記録します。そしてグループごとに大きな地図にまとめ、蝶の生息域と蝶道がわかる蝶マップを発表するという内容です。

「きれいな蝶をたくさん捕まいたい」「よく山を歩いているけど、もっと昆虫のことが知りたい」「夏休みの宿題にしたい」などなど、さまざまな思いで参加した18組の親子たち。最初はなかなか蝶を捕まえることができなかった子供も、みんなでワイワイ楽しんでいるうちに、いろんな蝶を発見！「あ、シジミチョウだ！」などと、蝶の種類がわかるようになりました。



子供たちも興味深々の蝶の講義

Q よこはま森の楽校とは？

A 横浜みどりアップ計画では、森に関わる市民の裾野をひろげるため、親子で参加できる森に関わるイベントの充実に取り組んでいます。「よこはま森の楽校」は、横浜市と市内大学が連携し、大学の先生や学生が企画する自然体験学習を開催しています。

蝶を捕まえることに夢中だった子供たちが、だんだん、どの蝶が、どんな場所にいるのが気付くようになったのも、学習の成果です。

「生き物のつながりを、緑地だけでなく、まちも含めて考えることが大切です。これを機会に、森とまちの境目や、まちとの関係も考えられるようになって欲しいですね」と横田先生。



学生たちの地域への思い

こうした取組を平成14年度から続けてきたフェリス女学院大学の学生は、さまざまな思いを語ってくれました。「こうやって子供や地域の人たちと交流できるのが楽しいです」「子供たちに、どう伝えたら理解してもらえるかを考えるのは難しいけれど、私たち自身も勉強になります」「活動を続けることで、これまで環境に関心のなかった子供たちにも、緑と生き物の関係を知って興味を持ってもらえたら嬉しいです」(エコキャンパス研究会：1年・松永悠里さん、3年・浅田真奈さん、丸山絵里さん)。

よこはま森の楽校を通して、子供たちだけでなく、多くの大学生にも、横浜の緑や生き物について考えてもらいたい……。若い人たちの関心の芽が育ってほしいな、と思います。

ここにみどり税

よこはま森の楽校(大学主催の環境学習)のイベントの費用、広報

イベント INFORMATION

第5回 よこはま森の楽校 ～元気もりもり！横浜の森～

11/22(日)
入場料無料

日時：平成27年11月22日(日)
正午～午後5時
場所：クイーンズスクエア横浜1F
クイーンズサークル
(みなとみらい線「みなとみらい駅」)
入場料：無料



自然素材を使ったクラフト教室や、ネイチャーゲーム、ワークショップ、トークショーなど、横浜の森に親しむことのできるイベントです。

●問合せ 環境創造局みどりアップ推進課
Tel:045-671-2624 Fax:045-224-6627

よこはま森の楽校レポート

東京都市大学と東洋英和女学院大学で開催されたイベントを紹介します。

report 1 自由研究応援企画!!～落ち葉のゆくえ～ /東京都市大学 吉崎研究室(都筑区)

土壌生物探し、落ち葉の観察などを通して、森の循環を学びました。(8月開催)

学生スタッフより
「参加した後で見える世界が変わると思います。落ち葉のゆくえを通して森の循環を知ってほしいです」



report 2 森にやってくる生き物たち ～野鳥の生態と巣箱つくり～ /東京都市大学 北村研究室(都筑区)

キャンパスの森でのバードウォッチング、鳥の生態の解説や野鳥クイズ、巣箱作りをして、鳥の生態を学びました。(6月開催)



学生スタッフより
「鳥の研究をしています。地域の人にも、森にどんな鳥がいるか、知ってもらえたらいいなと思います」

report 3 英和の森の自然遊び /東洋英和女学院大学(緑区)

幼稚園児から小学生までの幅広い年齢の子供向けに、自然観察や笹舟遊び、自然素材を使った工作、自分で摘んだ草花の試食などを通して、自然の恵みと森の生き物に親しまれました。(6月開催)

参加者より
「子供1人ずつに学生が付いて、子供のペースで参加できてよかったです」「身近な自然を体験することができました」



市内大学の学生が中心に実施している毎年好評のイベント。企画会議に集まった皆さんにお聞きしました。「いちら自分たちで企画、準備するのは大変だけど、大学での勉強とは違った楽しさがあります。子供からおじいちゃん、おばあちゃんまで、いろんな方々と交流できるイベントは、自分の知らなかったことを教えてもらうこともあり、楽しみです」「横浜は都会?って聞かれるけど、私の周りには畑や森もたくさんあります。まちに自然があることの魅力や、森のあるまちだからこそ発見できる生き物のこと、いろいろ知って欲しいです」(東京都市大学吉崎研究室3年・後藤彰太さん、同大学北村研究室3年・柴田綾菜さん、笠井賢一さん)



イベントの企画会議に集まった学生のみなさん

遊びにきてね!

横浜花き展覧会

横浜産の花が勢ぞろい(最終日は即売会あり)。

展 示：11月27日(金)午後3時～4時30分
11月28日(土)午前9時～午後4時30分
11月29日(日)午前9時～10時

販 売：11月29日(日)午前10時～完売まで
(整理券は9時から配布)

会 場：横浜市こども植物園 1階展示室(南区六ツ川3-122)

問合せ：環境創造局農業振興課
Tel:045-671-2639 Fax:045-664-4425

いきものを知る守るシリーズ～林の野鳥調査隊～

調査編、保護編の2日間の連続プログラム。

日 時：①12月5日(土)②平成28年1月16日(土)、午前10時～午後3時
(①は雨天時12月12日、②は雨天決行)

対 象：小学生とその保護者、抽選で40人

会 場：横浜自然観察の森

申 込：E-mailかFAXか往復はがき(11月21日必着)に、
イベント名／参加者全員の氏名／子の年齢／代表者の連絡先電
話番号／FAXはFAX番号、往復はがきは返信先に住所／本誌で
知った旨を記入し、横浜自然観察の森へ

申込先：横浜自然観察の森
栄区上郷町1562-1 Tel:045-894-7474 Fax:045-894-8892
E-mail yokohama-nc@wbsj.org

青空市イベント

地元産農畜産物の販売や、野菜のプレゼント企画など。

※売切れ次第終了 ※①～④は天候により中止の場合あり

①～④の問合せ：
環境創造局農業振興課 Tel:045-671-2639 Fax:045-664-4425
⑤・⑥は各問合せ先へ

①北八朔日曜朝市直売会 感謝デー

12月6日(日)午前10時～正午
北八朔上自治会館前広場(東急バス青82系統「北八朔住宅」)

②東戸塚市民朝市 年末大売出

12月6日(日)・26日(土)午前7時～8時
セントラルフィットネスクラブ東戸塚第1駐車場(JR横須賀線「東戸塚駅」西口)

③横浜中部地区市民朝市 感謝デー

12月23日(水・祝)午前7時30分～8時30分
保土ヶ谷公園ミニ運動広場(市営バス25系統「明神台」)

④みなとみらい農家朝市 感謝祭

2月28日(日)午前9時～10時30分
高島中央公園(みなとみらい線「新高島駅」4番出口)

⑤都岡地区恵みの里 直売所祭り

12月5日(土)午前9時30分～11時30分(荒天時は翌日)
旭区下川井町の畑(バス「程ヶ谷カントリークラブ前」徒歩4分)
⑤の問合せ：都岡地区恵みの里運営協議会事務局
Tel:090-7733-8532 Fax:045-955-5057

⑥舞岡ふるさと村 直売所感謝祭

12月28日(月)・29日(火)、舞岡や午前7時30分～午後2時、
ハム工房まいおか：午前9時30分～午後4時、市営地下鉄「舞岡駅」
⑥の問合せ：舞岡や Tel:045-824-0075(午後2時まで)

こんにちは 横浜みどりアップ葉っぱだよ

よろしくね～!

531点の応募作品の中
から選ばれた、キャラク
ターです。
横浜みどりアップを知っ
てもらうため、活動してい
ます。

プロフィール 横浜みどりアップ 葉っぱー
横浜の森で目覚めた、森の妖精の好き
なことは日向ぼっこや手に持っている
花で、緑をどんどん増やします。



●●●●● 柏町市民の森 OPEN! ●●●●●

平成27年9月1日に、柏町市民の森(旭区)が開園しました。
柏町市民の森は、市街地に残る貴重な緑を守るため、横浜みど
り税を活用して、横浜みどりアップ計画で保全されたものです。

園内約1.9ヘクタールの緩やかな斜面の樹林地は、主にコナ
ラやクヌギ、エゴノキなどの落葉広葉樹林と、スギ・ヒノキなどの
針葉樹林で構成され、豊かな自然環境が保全されています。自
然を気軽に楽しんでいただくため、憩いの場となる広場や散策
路が設けられています。

アクセス：相鉄いずみ野線「南万騎が原」駅徒歩3分

問合せ：環境創造局北部公園緑地事務所 Tel:045-311-2016 Fax:045-316-8420



巡回などの日常管理は、市民の森
愛護会の皆さんが行っています。

横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を
守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり
税」を活用しています。(個人市民税均等割に年間900円、法人
市民税に均等割の9%相当額を上乗せ)計画書は、環境創造局
ホームページ、区役所広報相談係や市庁舎1階市民情報セン
ター、環境創造局政策課で閲覧できます。

http://www.city.yokohama.lg.jp/
kankyo/midoriup/



横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、
市民への情報提供をする、市民参加の組織
です。

市民推進会議



みどりアップQとは?

みどりアップQの「Q」は「みどりアップをもっ
と知る、なぜなら?(クエスチョン)」と、「緑の
ある暮らしの質(クオリティー)を考える」。市
民目線でみどりアップ計画を探っていく市民
推進会議のレポートです。

みどりアップQ 第5号

(市民推進会議広報誌 第25号)平成27年11月発行
編集:横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会
発行:横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ

横浜市環境創造局政策課(事務局) 〒231-0017 横浜市中区港町1-1
Tel: 045-671-4214 Fax: 045-641-3490
E-mail: ks-mimiplan@city.yokohama.jp

